

# 日本鉄鋼協会記事

## 理事会

**第1回理事会** 開催日：4月3日。出席者：井上副会長，ほか58名。

1. 編集委員長および和文会誌分科会主査解囑，委嘱の件

田中良平君を解囑し，加藤健三理事を委嘱することを決定。

2. 研究委員長解囑，委嘱の件

中川龍一君を解囑し，津谷和男理事を委嘱することを決定。

3. 各支部活動状況報告

資料に基づき各支部より55年度の活動状況の報告がなされた。

## 編集委員会

**第1回編集運営委員会** 開催日：4月17日。出席者：加藤委員長，ほか24名。

1. 委員交替および担当が承認された。

2. 各分科会の活動報告が行われた。

**第2回和文会誌分科会** 開催日：4月10日。出席者：加藤主査，ほか21名。

1. 34件の論文審査報告がなされ，掲載決定27件，修正依頼4件，その他3件であった。

2. 「鉄と鋼」第67年第10号（8月号）に論文11件，技術報告3件，技術資料2件，解説2件掲載決定した。

**第2回欧文会誌分科会** 開催日：4月17日。出席者：中村主査，ほか12名。

1. 14件の論文につき審査報告がなされ，掲載可2件，照会后掲載可4件，修正依頼7件，返却1件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，5件の研究論文，第101回講演大会講演より，1件の研究論文，および討論会より，1件の研究論文を勧誘することとなった。

**第2回講演大会分科会** 開催日：4月20日。出席者：鈴木朝夫主査，ほか13名。

1. 4月2, 3, 4日に行われた第101回講演大会の報告が行われた。

2. 第104回講演大会の討論会テーマが下記のように内定した。

製鋼 連铸鑄片の品質と鋼の高温における力学的特性  
加工 継目無鋼管の製造技術の動向  
性質 鋼の腐食の確率論的評価  
制御圧延と制御冷却をめぐる諸問題。

## 研究委員会

**第2回委員会** 開催日：3月24日。出席者：中川研究委員長，ほか19名。

1. 講演「転炉による石炭のガス化について」

住金大阪本社技師長 田上豊助氏

2. 報告事項

(1) 共同研究問題懇談会製鋼Gの開催について  
4月1日夜 於：鋼管・高輪クラブ

(2) 共同研究問題懇談会材料Gの開催について  
4月2日夜 於：東大・山上会議所

(3) 特定基礎研究会  
鋼材の表面物性に関する基礎研究会第1回準備委員会について

(4) International Symposium on New Aspect on Sheat Metal Forming

3. 中川委員長退任挨拶

研究委員長の大役が無事果たしたことは，皆様の御支援によるものであり，今後ともこの委員会が協会の指導的役割を十分に果し，大きく発展して頂くように希望している旨の挨拶が行われた。

## 共同研究会

### 製鋼部会

**第78回部会** 開催日：3月19日～20日。出席者：山本部会長，ほか118名。

開催地：川鉄・水島

議題

1. 重点テーマ

「製鋼時間のコントロール技術」（連铸とのマッチング技術，吹止適中率向上技術，無倒炉出鋼技術など）

発表件数6件

2. 自由議題

発表件数13件

連铸に関するもの 10件

転炉に関するもの 2件

その他 1件

### 鉄鋼分析部会

**第63回鋼中非金属介在物分析分科会** 開催日：3月10日。出席者：成田主査，ほか17名。

開催地：日本ビル別館B2会議室

議題

鋼中硫化物の抽出分離定量法に関する研究についての白発検討および共同実験結果等の発表，討議が行われた。

1. 第4回共同実験結果 4件

2. 第5回共同実験試料の予備実験結果 7件

3. その他 3件

## 標準化委員会 ISO鉄鋼部会

### 第4回 SC1 諮問分科会 開催日：3月24日。

出席者：川村主査，ほか9名。

1. 海外出張報告が行われた。
2. 下記案件について審議が行われた。

#### (1) SC1 分科会関係

DP4829, DP4935, DP 4938,  
DP4942, DP4947, DP4937

#### (2) SC1 諮問分科会関係

DR437, DR439, DR629, DR671,  
DP4935, DP4936, DP4937, DP4942,  
DP4947, Future Work の Inquiry,  
DP6306, 9th Meeting の Information letter

### 第34回 SC3 分科会 開催日：4月7日。出席者：

小倉主査，ほか9名。

1. 幹事から，ISO/TC17/SC3 最近の資料と処理状況について説明があつた。
2. SC3N394 熱延板の寸法・形状に対する日本意見案提出の依頼について，幹事より説明があり，項目毎に協議を行った。

### 第27回 SC9 分科会 開催日：3月20日。出席者：

有賀主査ほか，8名。

1. SC9/GT3 の会議を10月のSC9 東京会議の前に開催したいと，イギリスから申し入れがあつた。事務局で，イギリスの希望する日程を打診することになつた。

2. SC9 東京会議について，10月開催予定の国際会議にそなえて ISO/TC17/SC9 東京会議準備委員会を新たに発足させることにした。製缶会社からの委員の推せんを，日本製缶協会と全国ブリキ製缶工業会へ依頼することにし，早速事務局が文書を出すことに決まつた。第1回準備委員会を4月10日に開催することにした。

### 第28回 SC9 分科会 開催日：4月10日。出席者：

有賀主査，ほか7名。

2月25日～26日にパリで開催された。第1回 SC9/WG2 国際会議出席報告。

### 第68回普通鋼分科会 開催日：3月19日。出席者：

小倉主査，ほか12名。

1. 議事録の承認
2. 80キロ ハイテン
3. 圧力容器用鋼板（改正素案）
4. ぶりきおよびティンフリースチール
5. JMC/UST 基準
6. 昭和56年度鉄鋼関係規格の業務計画について

## 高温強度研究委員会

### 第1回高温引張試験分科会 開催日：3月25日。出席者：

田村主査，ほか16名。

### 1. 第7回共通高温引張試験結果報告のまとめについて

分科会の前に開催された小委員会で修正された報告書(案)が，主査より読み上げられ説明が詳細に行われた。審議ののち一部見直し再考することで原案どおり了承された。

### 2. 同試験結果報告書の発表について

この報告書は前回(第6回)と同じくパンフレットにし委員会メンバー全員に配付すると同時に，この抄録を「鉄と鋼」に投稿して公表する意向であることが述べられた。

### 3. 次期計画について

主査から本分科会で次に何を行つたらよいかが提案され，各委員の意見を聴取された。この結果はアンケートによる調査を望むものが多かつた。

## 材料研究委員会

### 第42回委員会 開催日：3月17日。

出席者：大橋委員長，ほか13名。

研究発表

1. J<sub>ic</sub> Upper Shelf 温度域での破壊強度について
2. COD 値のバラツキについて (新日鉄・基礎研)
3. 脆性破壊発生および伝播停止特性のX線フラクトグラフィによる観察 (川鉄)
4. 特殊鋼と破壊靱性 (大同)

## 鉄鋼基礎共同研究会

### 第3回連続鑄造における力学的挙動部会

開催日：2月18日。出席者：森部会長，ほか27名。

開催地：本協会会議室

議題

1. 研究発表 2件
2. 特別講演「スラブ連続鑄機の矯正域における鑄片のひずみとロール荷重の数値解析」  
日立造船・技研 大西邦彦氏
3. 割れ写真集の検討

## 日本圧力容器研究会議

### 第1回運営委員会 開催日：3月26日。出席者：木原会長，ほか18名。

1. 各部会活動状況報告
  - (1) 材料部会……荒木部会長
  - (2) 施工部会……金沢部会長
  - (3) 設計部会……藤村事務局長
2. PVRC January Meeting 出席報告
3. 報告事項
  - (1) PVRC long Range plan Problem について
  - (2) Application of CR plate for Pressure Vessels and Tanks